

アーティセン、MaxCore™技術をラックスケールのアーキテクチャ(RSA)に拡張

東京, 日本 [2016年5月11日] - [アーティセン・エンベデッド・テクノロジーズ](#) では、通信事業者や大企業が進化を続けるソフトウェア定義インフラにアクセラレーションを追加できるようにするため、MaxCore™技術をインテルの「ラックスケールアーキテクチャ(RSA)」に拡張します。ラックスケールソリューションは総所有コスト改善のメリットによって、Facebook、Google、Amazonなどの巨大コンピューティング企業や、通信およびクラウドサービスプロバイダなどに認められ、大企業での採用も増えています。



[MaxCore™ Hyperscale Platform](#) は、超高密度と柔軟性を活かして、アーティセンのMaxCore アーキテクチャの CapEx および OpEx 節減のメリットを、Cloud Radio Access Network または C-RAN および Mobile Edge Computing (MEC)アプリケーションなどの仮想化ネットワーク機能のクラウド展開で実現します。C-RAN は、2G、3G および 4G ネットワークをサポートする無線アクセスネットワーク用(RAN)の集中化クラウドコンピューティングベースのアーキテクチャで、5G などの将来の無線通信規格をサポートするように作られています。

Xona Partners パートナーの Frank Rayal と、Mobile Experts LLC のプリンシパルアナリストの Joe Madden は最近の記事で次のように書いています。「無線ネットワークの進化の動向は、ネットワークアーキテクチャおよび技術、そしてその商業利用が分岐点にあることを示していますが、運用プロセスは依然として旧来のままです。通信事業者は、顧客や投資家からの需要に、もっと効率的かつ効果的に対応するため、新しい手段を探す必要に迫られています。クラウド RAN には、将来の無線ネットワークや屋内市場での、柔軟性ニーズに対応する要素がありますので、新興ソリューションが、低コスト高密度のモバイルインフラで新境地を拓きます。

Dell Extreme Scale Infrastructure のディステイニングイッシュドエンジニアでアーキテクチャ部長の Stephen Rousset は、次のように述べました。「弊社の ESI (Extreme Scale Infrastructure)グループにアプリケーション特化技術を導入するための、アーティセンと

の協業は、Dell がハイパースケール企業から得た知見を、通信事業者やサービスプロバイダ特有のニーズと、どのように組み合わせるかを示しています。Dell DSS 9000 はオープンで柔軟かつ効率的なラックレベルインフラで、MaxCore Hyperscale プラットフォームと組み合わせると、モバイルエッジネットワークで C-RAN 機能を提供し、成長中のサブハイパースケール市場でアピールし続けることができます。」

アーティセン・エンベデッドテクノロジーズプラットフォームマーケティング VP の Todd Wynia は次のように述べました。「アーティセンは、ETSI Mobile Edge Computing Industry Specification Group に積極的に参加しており、ネットワークエッジが大きな変革を迎えていると考えています。通信事業者は仮想化および加速化技術の調査および試行によって、次世代 5G 展開だけでなく、既存インフラの効率とコスト効果の向上というメリットも期待できます。アーティセンの比類ない密度と構成柔軟性の革新的な MaxCore アーキテクチャの、Dell DSS 9000 への新規実装は、無線アプリケーションに於いて魅力的でコスト効果の高い事例です。」

企業ロゴ

<http://release.media-outreach.com/i/Download/1489>

C-RAN について

C-RAN では、基地局(BTS)をまず、セルサイトのリモートラジオヘッド(RRH)をベースバンド装置(BBU)から分離し、分解します。複数の RRH は、単一の共有 BBU に接続されます。この分離によって、セルサイト設備のコスト(CAPEX と OPEX の両方)が節減されます。集約度によっては、BBU に規模の経済が生じることがあり、BBU が屋内に設置できる場合はそのコストも節減されます。次に、セルサイトの大規模クラスタをサポートする集中化 BBU が仮想化されます。これらの仮想化ベースバンド装置は、従来の RAN ベンダ製の専用カスタム固定機能設備ではなく、ラックスケールの機器など、スタンダードな COTS サーバープラットフォームに設置できます。

アーティセン・エンベデッドテクノロジーズについて

アーティセン・エンベデッドテクノロジーズは、通信、コンピューティング、医療、航空宇宙、工業などの各種業界向け高信頼性電源と組み込みコンピューティングソリューションの設計と製造で世界をリードしている企業です。アーティセンは 40 年以上にわたって、コストパフォーマンスの高い先進なネットワークコンピューティングおよび電力変換ソリューションを提供し続け、お客様の開発期間短縮やリスク軽減をサポートし、信頼され続けてきました。アーティセンの社は米国・アリゾナ州テンピにあり、10 か所の COE (中核研究拠点)、4 か所のワールドクラスの製造工場、世界各国でのグローバルなセールス&サポート拠点などを有し、世界各国で 20,000 人以上の従業員が働いています。

アーティセン・エンベデッドテクノロジーズ、アーティセンおよびアーティセン・エンベデッドテクノロジーズのロゴはアーティセン・エンベデッドテクノロジーズの商標とサービスマークです。他のすべての製品名およびサービス名は、それぞれの所有者の資産です。© 2016 アーティセン・エンベデッドテクノロジーズ。

メディアお問い合わせ先:

Alice Hui

+852 2176 3548

Alice.Hui@artesy.com